

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公表番号】特表 2017-538020 (P2017-538020A)
 【公表日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-049
 【出願番号】特願 2017-531853 (P2017-531853)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 81/02 (2006.01)

C 0 8 F 20/06 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 81/02

C 0 8 F 20/06

C 0 8 F 2/44 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 2 年 1 月 27 日 (2020.1.27)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 4 1
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 4 1 】

好ましくは、本発明のポリマーは、「実質的に線状」であり、このことは、これらのポリマーが、該ポリマーを作製するために用いられるメタクリル酸無水物の主鎖ポリマーの滴定によって決定されるとき、主鎖ポリマーに沿って架橋または鎖内連結（バックバイト）を形成するイミドまたは無水物基をメタクリル酸無水物の量に基づいて 3 % 未満有することを意味する。このようなポリマーは、ポリマー添加剤から水性増粘剤にまで及び使用において剛直棒状ポリマーのように作用することができる。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 7 6
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 7 6 】

本発明によれば、リン酸基含有前駆体ポリマーは、主鎖ポリマーを作製するために用いられるモノマー及び次亜リン酸塩を含む反応物質の総重量に基づいて、60 重量%以上かつ最大 98 重量%のメタクリル酸（M A A）及び/またはその塩、好ましくは 70 重量%以上、またはより好ましくは 80 重量%以上と、1 つ以上のリン酸化合物の残りの部分、また必要に応じて、ビニルまたはアクリルモノマーから、リン酸化合物の存在下で従来の水溶液重合法によって形成される。